

ながはま見聞録

Nagahama Hotnews

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介し、あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報課(☎65-6504)までお知らせください。

7月15日(水)

市産材を活かした「仕切り板」を寄贈

ながはま森林マッチングセンターが、市内のしょうがい者向け入所施設に市産材を使用した「仕切り板」を寄贈しました。

制作を手掛けたのは、家具のリメイクや古民家活用などに取り組む地域おこし協力隊の藤本龍介さん。寄贈を受けた「湖北まこも」の嶋崎雅之施設長は、「どうしても密になりやすい事務室の机と机の間に設置して活用させていただきます。さらに職員の意識づけにもつながれば」と話しました。



7月18日(土)

花火で元気を届けました

TBS音楽特番「音楽の日」の企画で、豊公園沖から花火が打ち上げられました。

「日本の元気！」をテーマに、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて各地で花火大会の中止が相次ぐなか、日本全国に元気を届けようと全国8か所の花火の様子が中継されました。

長浜からは医療従事者への感謝の気持ちを込めて青く輝く花火が打ち上げられ、コロナ禍の終息を願う気持ちを一つにしました。

7月22日(水)

新設の交流スポットで企画展

「えきまちテラス長浜」の1階に、訪れた人々が本を通じて交流するスペース「えきまちライブラリー」が新設され、そのオープニング企画として、長浜市出身の漫画家ゴツボ×リュウジさんらの作品を紹介する「勝手にゴツボ×リュウジ祭」が開催されています。

この企画展は9月末まで開催され、ゴツボさんにまつわる漫画110冊を手にとって自由に読むことができます。



7月29日(水)

生の文化芸術に触れ感激

余呉小中学校で「子ども芸術体験事業」が開催されました。

これは、市内で活躍する若手アーティストで結成される「長浜文化芸術ユース会議『はまかるNEXT』」と市が、子どもたちに生の文化芸術に触れてほしいと開催したものです。

この日は、劇団プラネットカンパニーによって「アレクサンダとぜんまいねずみ」の劇が上演され、文化祭で披露するお芝居を練習中の児童たちは真剣に見入っていました。

長浜市公式 SNS

- 長浜の催しや風景など、自慢の一枚をInstagramに投稿してください。長浜市公式Instagramアカウント「#みんなのちょびっく」で紹介し、詳しくは市ホームページをご覧ください。
- 見聞録のイベントは市公式 Facebook ページでもさらに詳しくみることができます。



▲市ホームページ



▲ほっとにゆ〜す

8月1日(土)

多くの応募にひでよしくんも大喜び

コロナ禍で休校中の子どもや外出できない人を応援しようと長浜観光協会が企画した「ひでよしくんをおうちで描こう！」お絵かきコンテストの授賞式が、長浜城歴史博物館で開催されました。

県内外の幅広い年代の人から24点の応募があり、特別賞を受賞した尚永華さんは「賞をもらって、とてもうれしいです」と喜びを語りました。



8月2日(日)

米川で夏の風物詩「灯籠流し」

市の中心部を流れる米川で、手作りの灯籠を流すイベントが開催されました。

コロナ禍で多くのイベントが中止となる中、夏の良い思い出になればと、「湖北の暮らし案内所どんどん」と市内の絵画教室「ナガハマアートラボ」が共同で企画したこのイベント。和紙の貼り絵で作られた個性あふれる灯籠100個が静かな闇の中をゆっくりと流れました。

8月5日(水)

犯罪や非行を未然に防ぐパトロール

市民が安心して暮らせる安全なまちづくりを進めるため、長浜市防犯自治会と長浜警察署が協力して大型量販店などで夏季一斉防犯パトロールを実施しました。

防犯自治会員、長浜警察署員および市職員など42人、9台の車両が参加。臨湖前で行われた出動式で藤井市長は「地道で献身的なパトロールこそが犯罪や少年非行の未然防止に最も効果的。協力をお願いします」と激励しました。



8月8日(土)

ピカピカ! だんごを作ろう!

自然に親しみ、環境に対する関心を高めるため、夏休み工作スペシャル「ピカピカ! だんごを作ろう!」が湖北野鳥センターで実施されました。

子どもたちは服や靴が汚れてもお構いなしに「結構、硬くなった」、「ジャガイモみたい」などと楽しみながら、2時間もの時間をかけてピカピカのだんごをつくりました。作りあげた達成感で子どもたちの笑顔があふれました。